

科目名	装具実習Ⅱ				授業の種類	講義/実習	講師名		
授業回数	75回	時間数	150時間 (4単位)	配当学年・時期	義肢装具士科2年	前期	必修・選択	必修	
〔授業の目的・ねらい〕 神経筋疾患に関連する装具の製作に必要な採型・採寸の基本的理論並びに方法及び適合の理論並びに実際について学ぶ。 また、神経筋疾患の病態の生体力学的根拠に基づく製作理論及び技術について学ぶ。									
〔授業全体の内容の概要〕 実習：代表的な下肢装具について、模範実習に倣って製作・適合を行ない、製作・適合の技術について指導および評価を受ける。 (プラスチック短下肢装具、両側支柱付短下肢装具、両側支柱付長下肢装具) 講義：適応となる症状・障害やその原因疾患の概要及び装具療法の概要、装具の構成要素の基本知識、生体と装具の適合の基本知識及び装具装着時の歩行等について学ぶ。									
〔講師の実務経験〕 有限会社ピーオーテックにて14年間勤務									
〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕 各種の短下肢装具及び長下肢装具の製作を通して、その採型・採寸方法、製作方法、適合方法、装具の構造・機構及び適応症状等を理解できる。また、装具装着時の歩行を中心とした生体力学を理解できる。									
回数	講義内容								
1	座学1 下肢装具の構成								
2	座学2 正常歩行と片麻痺歩行の比較								
3	座学3 床反力と関節モーメント								
4	座学4 装具の矯正モーメント								
5	座学5 短下肢装具の機能分類								
6	座学6 装具なし歩行と装具歩行								
7	座学7 異常歩行①								
8	座学8 異常歩行②								
9	座学9 長下肢装具と片麻痺の下肢装具①								
10	座学10 長下肢装具と片麻痺の下肢装具②								
11	座学11 脳卒中と急性期リハビリの重要性①								
12	座学12 脳卒中と急性期リハビリの重要性②								
13	座学13 対麻痺の長下肢装具①								
14	座学14 対麻痺の長下肢装具②								
15	座学15 膝関節の装具療法								
16	実習1 プラスチックAFO：課題疾患の説明と担当課題の設定								
17	実習2 アセスメント、採寸と採型								
18	実習3 陰性モデル評価								
19	実習4 モデル修正①								
20	実習5 モデル修正②								
21	実習6 モデル修正③ 設計								
22	実習7 陽性モデル評価								
23	実習8 モールディング①								
24	実習9 モールディング②								
25	実習10 モールディング③								
26	実習11 トリミング①								
27	実習12 トリミング②								

2020 年度

授業概要

科目名	装具実習 II				授業の種類	講義/実習	講師名				
授業回数	75回	時間数	150時間 (4単位)	配当学年・時期	義肢装具士科2年		前期	必修・選択	必修		
回数	講義内容										
28	実習13	足継手加工	組み立て								
29	実習14	仮合わせ適合①									
30	実習15	仮合わせ適合②									
31	実習16	仮合わせ後調整									
32	実習17	仕上げ									
33	実習18	両側支柱付き長下肢装具	課題疾患説明と担当課題の決定								
34	実習19	アセスメント、	トレース								
35	実習20	トレースの修正と設計									
36	実習21	あぶみ加工									
37	実習22	足継手加工									
38	実習23	支柱加工									
39	実習24	半月加工									
40	実習25	組み立て	同時進行でP-AFO評価								
41	実習26	巻き革作製									
42	実習27	靴の取り付け									
43	実習28	組み立て									
44	実習29	両側支柱付き短下肢装具の適合①									
45	実習30	両側支柱付き短下肢装具の適合②									
46	実習31	膝継手加工									
47	実習32	大腿半月加工①									
48	実習33	大腿半月加工②									
49	実習34	大腿部組み立て									
50	実習35	下腿の連結部加工									
51	実習36	大腿部巻き革作製①									
52	実習37	大腿部巻き革作製②									
53	実習38	膝当て作製									
54	実習39	組み立て									
55	実習40	靴取り付け									
56	実習41	両側支柱付き長下肢装具	仮合わせ適合①								
57	実習42	仮合わせ適合②									
58	実習43	仮合わせ後の調整①									
59	実習44	仮合わせ後の調整②									
60	実習45	仮合わせ後の調整③									
61	実習46	巻き革の仕上げ									
回数	講義内容										
62	実習47	組み立て(銅鋳カシメ)									
63	実習48	組み立て(巻き革カシメ)									
64	実習49	組み立て(靴取り付け)									
65	実習50	完成試適合									
66	実習51	プレゼンテーション・評価①									
67	実習52	プレゼンテーション・評価②									

科目名	装具実習Ⅱ			授業の種類	講義/実習	講師名		
授業回数	75回	時間数	150時間 (4単位)	配当学年・時期	義肢装具士科2年	前期	必修・選択	必修
68	実習53 プレゼンテーション・評価③							
69	実習54 プレゼンテーション・評価④							
70	実習55 完成装具による試歩行							
71	実習56 適合理論のまとめ①							
72	実習57 適合理論のまとめ②							
73	実習58 長下肢装具の採型方法について①							
74	実習59 長下肢装具の採型方法について②							
75	実習60 総括							
筆記試験&実技試験								

【 準備学習・時間外学習 】

【実習】 事前学習：動画配信+テキストによる予習。 復習：ノート・課題レポート作製。

【座学】 事前学習：テキスト+配布資料による予習と要点プリント問題。 復習：プリントの復習。

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
装具学 第4版	加倉井周一編	医歯薬出版
義肢装具学 第4版	川村次郎 ほか	医学書院
「推薦図書」 脳卒中の下肢装具第3版	渡邊英夫	医学書院

【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

実習課題（35%）+小テスト・レポート課題・ノート提出（30%）+終講試験（35%）により認定する。

*ただし実技試験、終講試験それぞれの点数が60%を満たさない場合は再試とする。